

粘土を使って古代の人々の生活を調べてねんどで土器を再現してみよう

土器をつくらう

作品づくりのオススメポイント

- 彫塑ねんどは自然乾燥させるだけで、焼き物のような風合いに仕上がります。
- 乾燥後、少し水をつけ、軍手などで磨くと金属のような光沢になります。
- 乾燥後、彫刻刀や紙やすりで簡単に加工でき、絵の具で発色よく着色できます。



用意するもの



- 彫塑ねんど
- ねんど板
- ヘラ
- 模様付け用のひも



1 昔の人々の生活やどんな目的で使うのかを学びましょう。

POINT 社会科の授業と合わせて実際に作る事で深く学べます。



2 丸めたねんどを薄くのばし、底板にします。

POINT 底面を小さくすると先の尖った土器に仕上がります。



3 ひも状に細くしたねんどを積んでいきます。

POINT ねんどをひも状に積み重ねる技法のひもづくりに挑戦してみましょう。



4 積んだねんどをならしてなめらかにします。

POINT 表面だけでなく裏面もしっかり指先でならします。



5 残ったねんどで部品をつけて仕上げます。

POINT 乾燥後、補修する場合は補修箇所に水をつけ、ねんどを刷り込みます。



6 ヘラなどで模様を入れて乾燥させます。

POINT 色々な物を押し付けて模様を写してみよう。

